

2016(平成28)年度事業報告

1. 調査研究事業

事業名	事業計画等
懸賞論文の募集	<p>大学等における交通運輸・観光に関する研究を促進するとともにその研究論文を活用することにより、九州圏における交通運輸・観光事業の発展及び地域社会の活性化に寄与することを目的として、5月24日～10月31日の間、懸賞論文を募集したところ9件の応募があり、審査委員会(2016年12月16日開催)において審査の結果、以下のとおりに決定された。</p> <p>最優秀賞受賞者 1編</p> <ul style="list-style-type: none"> 福岡大学大学院工学研究科 田中啓介様、西原大樹様、藤美沙子様 テーマ：福岡市における都心循環 BRT の走行空間に関する研究 <p>優秀賞受賞者 2編</p> <ul style="list-style-type: none"> 佐賀大学工学系研究科 月川 駿様、張 露月様、石 陽様 地域デザイン研究科 吉永翔平様 テーマ：福岡市における新しい公共交通指向型開発の提案 ～目的地集約型都市構造を目指して～ 駒澤大学 経済学部 小松拓也様、阿波賀直人様 テーマ：天草地域のブランディング化と観光による地域活性化 <p>なお、2017年3月1日(水)に福岡市において授賞式を開催し、また、受賞論文3編はホームページにて公開、最優秀賞論文は機関誌九州うんゆジャーナルVOL.109に掲載した。</p>

2. 施設整備事業

事業名	事業計画等
九州圏における海運振興関連施設整備 (日本財団助成事業)	<p>(1)離島住民の民生の安定と福祉の向上に資するため、冷凍コンテナ、保冷コンテナ等を製作して旅客定期航路事業者等に管理委託した。</p> <p>冷凍コンテナ 12個</p> <ul style="list-style-type: none"> マルエーフェリー(株)(鹿児島～奄美～那覇航路) L6058×W2438×H2591mm 2個 マリックスライン(株)(鹿児島～奄美～那覇航路) L6058×W2438×H2591mm 1個 L3658×W2438×H2591mm 1個 奄美海運(株)(鹿児島～喜界～知名航路) L3658×W2438×H2591mm 2個 岩崎産業(株)(鹿児島～西之表航路) L3658×W2438×H2591mm 1個

事業名	事業計画等
<p>九州圏における海運振興関連施設整備 (日本財団助成事業)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・十島村(鹿児島～十島～名瀬航路) L2438×W2991×H2100 mm 1個 ・三島村(鹿児島～三島航路) L1680×W2125×H2100 mm 1個 ・九州郵船(株)(博多～比田勝航路) L2700×W1640×H2300 mm 1個 ・野母商船(株)(福江～青方～博多航路) L2550×W1800×H2438 mm 2個 <p>(2)離島住民の福祉の向上のため、風雨防止用通路シェルター、簡易待合所、バリアフリー対応型タラップを製作し、離島航路の岸壁に整備し、旅客定期航路事業者に管理委託した。</p> <p>風雨防止用通路シェルター 12基</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甌島商船(株)(鹿児島県薩摩川内市 長浜港(甌島)) L5000×W1610×H2240 mm 4基 ・宗像市(福岡県宗像市 泊港(地島)) L5000×W1610×H2240 mm 3基 ・福岡市(福岡市 玄界島浮棧橋(玄界島)) L6000×W2200×H2800 mm 2基 L5200×W2200×H2800 mm 1基 L1600×W2200×H2800 mm 1基 L4000×W2200×H2800 mm 1基 <p>簡易待合所 2基</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天長フェリー(株)(鹿児島県長島町 諸浦港) L2500×W3000×H2600 mm 1基 ・九州郵船(株)(長崎県壱岐市 郷ノ浦港) L5000×W2240×H2300 mm 1基 <p>バリアフリー対応型タラップ 2基</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コスモライン(株)(鹿児島市 鹿児島本港南埠頭) L10500×W2100×H最低500/最高4000 mm 1基 ・種子屋久高速船(株)(鹿児島県西之表市 西之表港) L5500×W1100×H556 mm 1基

3. 広報啓発等事業

事業名	事業計画等												
<p>(1)機関誌「九州うんゆジャーナル」の発行</p>	<p>賛助会員その他関係者への交通運輸・観光等に関する情報提供・サービス向上を図るため九州うんゆジャーナルを発行、配布した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%;">2016 夏号 VoL.107</td> <td style="width: 25%;">2016年 7月10日</td> <td style="width: 25%;">発行</td> <td style="width: 25%;">1,050部</td> </tr> <tr> <td>2016 冬号 VoL.108</td> <td>2016年 12月10日</td> <td>発行</td> <td>1,020部</td> </tr> <tr> <td>2017 春号 VoL.109</td> <td>2017年 3月10日</td> <td>発行</td> <td>1,030部</td> </tr> </table>	2016 夏号 VoL.107	2016年 7月10日	発行	1,050部	2016 冬号 VoL.108	2016年 12月10日	発行	1,020部	2017 春号 VoL.109	2017年 3月10日	発行	1,030部
2016 夏号 VoL.107	2016年 7月10日	発行	1,050部										
2016 冬号 VoL.108	2016年 12月10日	発行	1,020部										
2017 春号 VoL.109	2017年 3月10日	発行	1,030部										

事業名	事業計画等
(2)各種講演会・セミナー等の開催	<p>交通運輸・観光に関する情報提供、普及啓発等を図るため各種講演会・セミナー等を開催した。</p> <p>講演会 交通運輸・観光関係業界団体等と連携・共催して交通運輸及び観光の振興と近代化に関する講演会を企画・開催した。</p> <p>a 経営セミナー・新春講演会 *(公社)熊本県トラック協会との共催 開催日：2017年1月27日(金) 15:00～17:45 場 所：熊本市 熊本ホテルキャッスル 参加者数：191名</p> <p>【第1部】 講 師：日本銀行 熊本支店長 竹内淳一郎氏 テ ー マ：人手不足をどのように克服するか ～熊本地震を例に～</p> <p>【第二部】 講 師：東京新聞・中日新聞論説副主幹/ジャーナリスト 長谷川幸洋氏 テ ー マ：安倍政権と今後の日本</p> <p>九州運輸コロキアム 九州内外から講師を招き、交通運輸・観光全般について情報提供等を行うとともに意見交換・討議の場として開催した。</p> <p>a 第57回九州運輸コロキアム 開催日時：2016年5月9日(月) 13:30～15:30 場 所：福岡市 ハイアットリージェンシー福岡 講 師：国土交通省 総合政策局 公共交通政策部長 蒲生篤実氏 テ ー マ：地域公共交通の現状と今後の課題 ～公共交通が地域活性化を支える～ 参加者数：110名</p> <p>b 第58回九州運輸コロキアム 開催日時：2016年6月6日(月) 13:30～15:30 場 所：福岡市 ハイアットリージェンシー福岡 講 師：観光庁 次長 蝦名邦晴氏 テ ー マ：わが国観光施策の現状と今後の取組み ～観光をわが国の基幹産業へ～ 参加者数：95名</p> <p>c 第59回九州運輸コロキアム 開催日時：2016年9月5日(月) 13:30～15:30 場 所：福岡市 ホテルセントラーザ博多 講 師：気象庁 福岡管区气象台長 横山博文氏 テ ー マ：九州地方の自然災害と防災 ～激甚化する自然災害から命を守る～ 参加者数：99名</p>

事業名	事業計画等
(2)各種講演会・セミナー等の開催	<p>海事振興セミナー 海事振興を目的として、特に海事に関する最新の情報提供や課題解決等のためのセミナーを開催した。</p> <p>a 第17回海事振興セミナー *九州クルーズ振興協議会との共催 開催日時：2016年6月22日(水) 14:35～16:00 場 所：福岡市 福岡合同庁舎 新館7階 会議室 講 師：九州産業大学 商学部長、教授 千 相哲氏 テ ー マ：クルーズ振興と観光 参加者数：99名</p> <p>企業経営基盤強化等セミナー 関係業界団体と連携し、企業の経営基盤の強化等につながる最新の情報等を提供するため、時宜に応じたテーマ・内容によるセミナーを企画・開催した。</p> <p>a 内航海運フォーラム in 博多 *内航海運研究会との共催 開催日時：2016年11月25日(金) 13:00～16:00 場 所：福岡市 ハイアットリージェンシー福岡 参加者数：109名</p> <p>【講演1】 講 師：同志社大学 教授 石田信博氏 テ ー マ：船腹調整事業、暫定措置事業の歴史と背景</p> <p>【講演2】 講 師：広島商船高専 教授 永岩健一郎氏 テ ー マ：これまでに提示されたビジョンについて 内航海運ビジョン / 2001年 国民経済研究協会 次世代内航海運ビジョン / 2002年 次世代内航海運懇談会</p> <p>【講演3】 講 師：大阪商業大学 教授 松尾俊彦氏 テ ー マ：内航海運ビジョン公表後の取り組みと課題</p> <p>【パネルディスカッション】 テ ー マ：暫定措置事業終了後の内航海運のあるべき姿 コーディネーター：流通科学大学 教授 森 隆行氏 パネリスト： 宇部興産海運(株)取締役海運本部長 西村幸恩氏 九州地方海運組合連合会 副会長 宗田銀也氏 大阪商業大学 教授 松尾俊彦氏 神戸大学 准教授 石黒一彦氏</p>
(3)次世代の海事産業を担うことになる小中学生等への啓発活動(海の子育成)	九州の海事関係産業は、「一割経済」といわれる九州にあって、「造船アイランド」、「海事王国九州」、「海道九州」と称されるように、特に重要な産業であるにも拘わらず、市民の間では若年層にいたるほど、その重要性の理解が薄れつつある。 九州においては、地理的な条件等から海事関係産業は引き続き地域

事業名	事業計画等
(3)次世代の海事産業を担うこととなる小中学生等への啓発活動（海の子育成）	<p>経済維持・発展等のためにも重要な産業であり、これに見合った市民の認識や評価、さらには将来当該産業を支える優秀な人が集まるような活動を積極的に行っていくことが必要と考える。このため、現在、九州運輸局に設置されている「九州海事産業次世代人材育成推進協議会」と連携して、次世代社会を担うこととなる小・中学生を対象に、海事産業現場の見学会を実施することなどにより、海事産業の重要性等の認識や理解促進を図った。</p> <p>【海の子育成 海事施設見学会】</p> <p>実施日：2016年8月8日（月）8:45～16:00 参加者：行橋市教育委員会 社会科教諭 13名 内 容：旅客フェリー船内見学、海事産業講義、造船所見学</p> <p>実施日：2016年10月18日（火）7:40～16:00 参加者：宇土市網津小学校 生徒 37名、教諭 2名 計 39名 内 容：コンテナターミナル見学、旅客フェリー体験乗船、造船所見学</p> <p>実施日：2017年1月31日（火）9:00～17:00 参加者：国立口之津海上技術学校 生徒 65名、教諭 5名 計 70名 内 容：(有)秀工社及び福岡造船(株)長崎工場見学</p>
(4)九州の交通・運輸に関する統計の整備	<p>九州圏における交通、運輸に関する統計資料である「九州運輸要覧」を当センターホームページ上で公開した。（監修：九州運輸局）</p> <p>また、九州圏における貨物流動及び経済に関する統計資料である「九州の物流」を当センターホームページ上で公開、また賛助会員等の希望者へCDに製作して配布した。（監修：九州運輸局）</p>
(5)バリアフリー啓発促進	<p>離島においては本土以上に高齢化の進展等が著しいにもかかわらず、未だハード及びソフトともに十分なバリアフリー化が進められていないのが現状である。</p> <p>このため、ハード面においては、行政の手の届かない、また、事業者で十分に対応できない部分のバリアフリー化の推進について、当センターが日本財団の助成によるバリアフリー対応型タラップ等を整備するなど、その一助となる活動を展開しているところであるが、ソフト面においても、より一層のバリアフリー化を進めることを目的として、船員や事務職員などの運航関係者を対象に、フェリーターミナルを活用した、車椅子・視覚障害・高齢者などの疑似体験及びサポート体験を実施した。</p> <p>平成28年度バリアフリー教室 in 福岡</p> <p>開催日時：2016年11月17日（木）14:00～17:20 場 所：福岡市 博多ふ頭第2フェリーターミナル 座 学：2F 待合室 ・旅客事業者に求められること及びディスカッション 実 技：2F 待合室 ・車椅子・視覚障害・高齢者などの疑似体験及びサポート体験</p>

事業名	事業計画等
(5)バリアフリー啓発促進	<p>主催：(公財)九州運輸振興センター、九州運輸局 協 力：福岡市、(公社)福岡県介護福祉会、福岡地区旅客船協会、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団、障害者の生活と権利を守る福岡県連絡協議会、博多海陸運送(株) 参加者数：旅客航路事業に従事する船員及び運航担当者 44 名</p>
(6)熊本地震の被災児童に対するフェリーを用いた海洋体験事業の実施 (日本財団助成事業)	<p>2016年4月に発生した熊本地震により、被災した方々(小中学生を中心)に楽しい夏休みの思い出を作れるように、各地域で開催される花火大会を船上から鑑賞するクルーズ体験をしてもらうこと及び1泊2日のクルーズ体験をすることにより、フェリー等への理解、更には海を身近に感じて親しみや関心を深めてもらい、併せて少しでも明るい笑顔を取り戻して傷ついた心のケアの一助になることを目的として実施した。</p> <p>夏休みクルーズ体験&花火大会鑑賞</p> <p>地震の被害が大きかった熊本県益城町及びその周辺地域に在住の小中学生と保護者を対象として熊本～島原間のクルーズ体験及び花火大会鑑賞を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時 <ul style="list-style-type: none"> A 2016年8月12日(金) 花火クルーズ 18:30 出航 21:00 下船 B 2016年8月12日(金) 港からの花火大会鑑賞 18:30～21:00 C 2016年8月25日(木) 花火クルーズ 19:30 出航 22:00 下船 ・場 所：熊本市 熊本港 ・参加者(応募者の中から抽選)： <ul style="list-style-type: none"> A 小中学生1名・大人1名のペアで、2名×100組=200名 B 小中学生1名・大人1名のペアで、2名×20組=34名 C 小中学生1名・大人1名のペアで、2名×100組=200名 ・使用船舶、会場 <ul style="list-style-type: none"> A、C オーシャンアロー(熊本フェリー) B ベイサイド港カフェ <p>1泊2日のクルーズ体験&海洋教育事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：2016年8月27日(土)10:00 八代港出港 2016年8月28日(日)15:00 八代港帰港 ・旅 程： <ul style="list-style-type: none"> (1日目)避難訓練、操舵室見学、ロープワーク教室、船上からの開聞岳見学、夜の星座教室 (2日目)船上からの軍艦島見学、イルカウォッチング ・参加者(応募者の中から抽選)： <ul style="list-style-type: none"> 主に熊本地震被災地域の小中学生及び保護者 283名 (内 大人 98名 子供 185名、当日不参加 17名) ・使用船舶：はくおう

2016(H28)年度 収支計算書

(2016年4月1日から2017年3月31日まで)

(公財)九州運輸振興センター (単位:円)

科 目	区 分	2016(H28)年度 予 算 額	2016(H28)年度 決 算 額	増 減
事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
基本財産運用収入		7,000	4,334	2,666
基本財産利息収入		7,000	4,334	2,666
会費収入		11,500,000	11,508,500	8,500
賛助会員会費収入		11,500,000	11,508,500	8,500
助成金等収入		151,600,000	151,320,477	279,523
日本財団助成金収入		151,600,000	151,320,477	279,523
施設整備事業助成金収入		64,010,000	63,762,000	248,000
海洋体験事業助成金収入		66,850,000	66,818,477	31,523
基盤整備助成金収入		20,740,000	20,740,000	0
負担金収入		7,370,000	7,355,988	14,012
施設整備事業負担金収入		7,370,000	7,355,988	14,012
広報啓発等事業収入		90,000	140,000	50,000
機関誌広告収入		90,000	140,000	50,000
雑収入		13,000	1,051	11,949
受取利息収入		13,000	1,051	11,949
事業活動収入計		170,580,000	170,330,350	249,650

(単位：円)

科 目	区 分	2016(H28)年度 予 算 額	2016(H28)年度 決 算 額	増 減
2	事業活動支出			
	事業費支出	166,121,200	163,135,027	2,986,173
	調査研究事業費支出	740,000	782,415	42,415
	懸賞論文募集費支出	740,000	782,415	42,415
	施設整備事業費支出	71,380,000	71,117,988	262,012
	広報啓発等事業費支出	73,180,000	72,080,802	1,099,198
	機関誌作成費支出	3,000,000	3,059,223	59,223
	講演会・セミナー等事業費支出	2,600,000	1,723,560	876,440
	講演会事業費支出		567,206	
	九州運輸コンキアム事業費支出		829,789	
	海事振興セミナー費支出		152,336	
	企業経営基盤強化等セミナー費支出		174,229	
	海の子育成事業費支出	400,000	378,158	21,842
	交通運輸統計整備費支出	30,000	12,949	17,051
	バリアフリー啓発促進事業費支出	300,000	88,435	211,565
	海洋体験事業費支出	66,850,000	66,818,477	31,523
	事業管理費支出	20,821,200	19,153,822	1,667,378
	給与費支出	13,920,000	13,046,586	873,414
	役員給与費支出	5,359,200	3,557,028	1,802,172
	職員給与費支出	8,560,800	9,489,558	928,758
	福利厚生費支出	2,592,000	2,376,936	215,064
	事務費支出	4,309,200	3,730,300	578,900
	通信運搬費支出	372,600	336,814	35,786
	消耗品費支出	267,300	74,097	193,203
	印刷製本費支出	243,000	91,507	151,493
	水道光熱費支出	243,000	173,350	69,650
	賃借料支出	2,227,500	2,193,359	34,141
	新聞図書費支出	162,000	128,846	33,154
	交際費支出	81,000	0	81,000
	保険料支出	8,100	4,504	3,596
	租税公課支出	56,700	38,070	18,630
	雑支出	648,000	689,753	41,753
	管理費支出	6,678,800	6,022,003	656,797
	給与費支出	3,480,000	3,344,189	135,811
	役員給与費支出	1,339,800	889,257	450,543
	職員給与費支出	2,140,200	2,454,932	314,732
	福利厚生費支出	608,000	557,553	50,447
	旅費交通費支出	1,000,000	692,861	307,139

(単位：円)

科 目	区 分	2016(H28)年度 予 算 額	2016(H28)年度 決 算 額	増 減
事務費支出		1,590,800	1,427,400	163,400
通信運搬費支出		87,400	112,679	25,279
消耗品費支出		62,700	116,158	53,458
印刷製本費支出		57,000	21,465	35,535
水道光熱費支出		57,000	40,662	16,338
会議費支出		580,000	419,942	160,058
賃借料支出		522,500	514,491	8,009
新聞図書費支出		38,000	30,222	7,778
交際費支出		19,000	0	19,000
保険料支出		1,900	1,056	844
租税公課支出		13,300	8,930	4,370
雑支出		152,000	161,795	9,795
事業活動支出計		172,800,000	169,157,030	3,642,970
事業活動収支差額(A)		2,220,000	1,173,320	3,393,320
投資活動収支の部				
1 投資活動収入		0	0	0
投資活動収入計		0	0	0
2 投資活動支出				
特定資産取得支出		343,200	343,200	0
退職給付引当資産取得支出		343,200	343,200	0
投資活動支出計		343,200	343,200	0
投資活動収支差額(B)		343,200	343,200	0
財務活動収支の部(C)		0	0	0
予備費支出(D)		961,500	0	961,500
当期収支差額(A + B + C - D)(E)		3,524,700	830,120	4,354,820
前期繰越収支差額(F)		3,524,700	3,524,700	0
次期繰越収支差額(E + F)		0	4,354,820	4,354,820

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金・預金、立替金、前払金、未収金、未払金、預り金、前受金を含む。
 なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	0	0
普 通 預 金	3,368,045	4,024,834
郵 便 振 替	1,894	42,458
定 期 預 金	2,000,000	2,000,000
前 払 金	1,140	48,157
未 収 金	140,000	90,000
合 計	5,511,079	6,205,449
未 払 金	1,278,849	1,393,253
未 預 り 金	707,530	457,376
合 計	1,986,379	1,850,629
次期繰越収支差額	3,524,700	4,354,820

貸 借 対 照 表

2017（平成29）年3月31日現在

（単位：円）

科 目	当 年 度 (2016(H28)年度)	前 年 度 (2015(H27)年度)	増 減
資産の部			
1．流動資産			
現 金	0	0	0
普通預金	4,024,834	3,368,045	656,789
郵便振替	42,458	1,894	40,564
定期預金	2,000,000	2,000,000	0
前 払 金	48,157	1,140	47,017
未 収 金	90,000	140,000	50,000
流動資産合計	6,205,449	5,511,079	694,370
2．固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	25,170,000	25,170,000	0
基本財産合計	25,170,000	25,170,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	10,982,400	10,639,200	343,200
冷凍・保冷コンテナ	125,964,673	123,230,265	2,734,408
通路シェルター	69,328,763	63,331,415	5,997,348
浮 棧 橋	32,680,907	39,011,231	6,330,324
特定資産合計	238,956,743	236,212,111	2,744,632
(3) その他の固定資産			
什器備品	360,513	366,561	6,048
敷 金	422,655	422,655	0
電話加入権	160,600	160,600	0
その他の固定資産合計	943,768	949,816	6,048
固定資産合計	265,070,511	262,331,927	2,738,584
資産合計	271,275,960	267,843,006	3,432,954

(単位：円)

科	目	当年度 (2016(H28)年度)	前年度 (2015(H27)年度)	増減
	負債の部			
	1. 流動負債			
	未払金	1,393,253	1,278,849	114,404
	預り金	457,376	707,530	250,154
	流動負債合計	1,850,629	1,986,379	135,750
	2. 固定負債			
	退職給付引当金	10,982,400	10,639,200	343,200
	固定負債合計	10,982,400	10,639,200	343,200
	負債合計	12,833,029	12,625,579	207,450
	正味財産の部			
	1. 指定正味財産			
	指定正味財産合計	248,524,343	246,122,911	2,401,432
	(うち基本財産への充当額)	(20,550,000)	(20,550,000)	(0)
	(うち特定資産への充当額)	(227,974,343)	(225,572,911)	(2,401,432)
	2. 一般正味財産			
	一般正味財産合計	9,918,588	9,094,516	824,072
	(うち基本財産への充当額)	(4,620,000)	(4,620,000)	(0)
	(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
	正味財産合計	258,442,931	255,217,427	3,225,504
	負債及び正味財産合計	271,275,960	267,843,006	3,432,954

正味財産増減計算書

2016(H28)年4月1日から2017(H29)年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度 (2016(H28)年度)	前 年 度 (2015(H27)年度)	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	4,334	6,304	1,970
受取会費			
賛助会員受取会費	11,508,500	11,424,500	84,000
受取助成金等			
受取日本財団事業助成金 (施設整備)振替額	59,337,249	54,750,298	4,586,951
受取日本財団事業助成金 (海洋体験)	66,818,477	0	66,818,477
受取日本財団基盤整備助成金	20,740,000	20,680,000	60,000
受取負担金			
受取施設整備事業負担金 振替額	6,612,610	6,637,677	25,067
事業収益			
機関誌広告収益	140,000	140,000	0
雑収益			
受取利息	1,051	7,971	6,920
経常収益計	165,162,221	93,646,750	71,515,471
(2) 経常費用			
事業費			
調査研究事業費	782,415	625,119	157,296
懸賞論文募集費	782,415	625,119	157,296
施設整備事業費	231,192	270,527	39,335
広報啓発等事業費	72,080,802	6,086,237	65,994,565
機関誌作成費	3,059,223	3,262,820	203,597
講演会・セミナー等事業費	1,723,560	2,110,178	386,618
(講演会事業費)	(567,206)	(329,400)	(237,806)
(九州運輸コロキウム事業費)	(829,789)	(993,393)	(163,604)
(海事振興セミナー費)	(152,336)	(494,563)	(342,227)
(企業経営基盤強化等セミナー費)	(174,229)	(292,822)	(118,593)
海の子育成事業費	378,158	468,590	90,432
交通運輸統計整備費	12,949	13,328	379
バリアフリー啓発促進事業費	88,435	231,321	142,886
海洋体験事業費	66,818,477	0	66,818,477
事業管理費	19,153,822	21,694,037	2,540,215
給与費	13,046,586	15,583,394	2,536,808
役員給与費	3,557,028	5,747,128	2,190,100
職員給与費	9,489,558	9,836,266	346,708
福利厚生費	2,376,936	2,295,015	81,921

(単位：円)

科 目	当 年 度 (2016(H28)年度)	前 年 度 (2015(H27)年度)	増 減
事務費	3,730,300	3,815,628	85,328
通信運搬費	336,814	289,220	47,594
消耗品費	74,097	97,918	23,821
印刷製本費	91,507	183,886	92,379
水道光熱費	173,350	172,563	787
賃借料	2,193,359	2,193,359	0
新聞図書費	128,846	134,449	5,603
交際費	0	0	0
保険料	4,504	3,791	713
租税公課	38,070	44,226	6,156
雑費	689,753	696,216	6,463
退職給付費用	274,560	274,560	0
役員退職給付費用	0	0	0
職員退職給付費用	274,560	274,560	0
什器備品減価償却額	4,899	14,389	9,490
冷凍・保冷コンテナ減価償却費	38,844,792	36,995,929	1,848,863
通路シェルター等減価償却費	20,979,348	17,595,084	3,384,264
浮棧橋減価償却費	5,894,527	6,526,435	631,908
事業費計	158,246,357	90,082,317	68,164,040
管理費			
給与費	3,344,189	4,039,536	695,347
役員給与費	889,257	1,436,782	547,525
職員給与費	2,454,932	2,602,754	147,822
福利厚生費	557,553	538,337	19,216
旅費交通費	692,861	1,008,180	315,319
事務費	1,427,400	1,446,621	19,221
通信運搬費	112,679	91,975	20,704
消耗品費	116,158	128,684	12,526
印刷製本費	21,465	43,134	21,669
水道光熱費	40,662	40,477	185
会議費	419,942	421,750	1,808
賃借料	514,491	514,491	0
新聞図書費	30,222	31,537	1,315
交際費	0	0	0
保険料	1,056	889	167
租税公課	8,930	10,374	1,444
雑費	161,795	163,310	1,515
退職給付費用	68,640	68,640	0
役員退職給付費用	0	0	0
職員退職給付費用	68,640	68,640	0
什器備品減価償却額	1,149	3,375	2,226
管理費計	6,091,792	7,104,689	1,012,897
経常費用計	164,338,149	97,187,006	67,151,143
当期経常増減額	824,072	3,540,256	4,364,328
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			

(単位：円)

科 目	当 年 度 (2016(H28)年度)	前 年 度 (2015(H27)年度)	増 減
受取日本財団事業助成金振替額	2,276,532	1,773,658	502,874
受取施設整備事業負担金振替額	490,165	396,915	93,250
経常外収益計	2,766,697	2,170,573	596,124
(2) 経常外費用			
固定資産除去損			
冷凍・保冷コンテナ除去損	1,858,400	1,325,077	533,323
通路シェルター等除去損	472,500	435,750	36,750
浮桟橋除去損	435,797	409,746	26,051
経常外費用計	2,766,697	2,170,573	596,124
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	824,072	3,540,256	4,364,328
一般正味財産期首残高	9,094,516	12,634,772	3,540,256
一般正味財産期末残高	9,918,588	9,094,516	824,072
指定正味財産増減の部			
受取日本財団事業助成金	63,762,000	64,290,000	528,000
受取日本財団施設整備負担金	7,355,988	5,768,127	1,587,861
一般正味財産への振替額	68,716,556	63,558,548	5,158,008
当期指定正味財産増減額	2,401,432	6,499,579	4,098,147
指定正味財産期首残高	246,122,911	239,623,332	6,499,579
指定正味財産期末残高	248,524,343	246,122,911	2,401,432
正味財産期末残高	258,442,931	255,217,427	3,225,504

2016(H28)年 正味財産増減計算書 内訳表
2016(H28)年4月1日から2017(H29)年3月31日

科 目	公益目的事業会計					法人会計	内部取引 消去	合計
	調査研究 事業	施設整備 事業	広報啓発等 事業	共通	小計			
一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益								
基本財産受取利息				4,334	4,334			4,334
受取会費								
賛助会員受取会費				11,508,500	11,508,500			11,508,500
受取助成金等								
受取日本財団事業助成金 (施設整備)振替額		59,337,249			59,337,249			59,337,249
受取日本財団事業助成金 (海洋体験)			66,818,477		66,818,477			66,818,477
受取日本財団基盤整備助成金	2,696,200	4,770,200	9,333,000		16,799,400	3,940,600		20,740,000
受取負担金								
受取施設整備事業負担金振替額		6,612,610			6,612,610			6,612,610
事業収益								
機関誌広告収益			140,000		140,000			140,000
雑収益								
受取利息				1,051	1,051			1,051
経常収益計	2,696,200	70,720,059	76,291,477	11,513,885	161,221,621	3,940,600		165,162,221
(2) 経常費用								
事業費								
調査研究事業費	782,415				782,415			782,415
懸賞論文募集費	782,415				782,415			782,415
施設整備事業費		231,192			231,192			231,192
広報啓発等事業費			72,080,802		72,080,802			72,080,802
機関誌作成費			3,059,223		3,059,223			3,059,223
講演会・セミナー等事業費			1,723,560		1,723,560			1,723,560
講演会事業費			(567,206)		(567,206)			(567,206)
九州運輸コンキアム事業費			(829,789)		(829,789)			(829,789)
海事振興セミナー費			(152,336)		(152,336)			(152,336)
企業経営基盤強化等セミナー費			(174,229)		(174,229)			(174,229)
海の子育成事業費			378,158		378,158			378,158
交通運輸統計整備費			12,949		12,949			12,949
バリアフリー啓発促進事業費			88,435		88,435			88,435
海洋体験事業費			66,818,477		66,818,477			66,818,477
事業管理費	2,966,855	5,440,430	10,746,537		19,153,822			19,153,822
給与費	1,986,681	3,706,276	7,353,629		13,046,586			13,046,586
役員給与費	444,628	1,333,886	1,778,514		3,557,028			3,557,028
職員給与費	1,542,053	2,372,390	5,575,115		9,489,558			9,489,558
福利厚生費	381,484	674,932	1,320,520		2,376,936			2,376,936
事務費	598,690	1,059,222	2,072,388		3,730,300			3,730,300
通信運搬費	54,057	95,638	187,119		336,814			336,814
消耗品費	11,892	21,040	41,165		74,097			74,097
印刷製本費	14,686	25,984	50,837		91,507			91,507
水道光熱費	27,822	49,223	96,305		173,350			173,350
賃借料	352,020	622,806	1,218,533		2,193,359			2,193,359
新聞図書費	20,679	36,586	71,581		128,846			128,846
交際費	0	0	0		0			0
保険料	723	1,279	2,502		4,504			4,504
租税公課	6,110	10,810	21,150		38,070			38,070
雑費	110,701	195,856	383,196		689,753			689,753
退職給付費用	44,616	68,640	161,304		274,560			274,560
役員退職給付費用	0	0	0		0			0
職員退職給付費用	44,616	68,640	161,304		274,560			274,560
什器備品減価償却額	786	1,391	2,722		4,899			4,899
冷凍・保冷コンテナ減価償却費		38,844,792			38,844,792			38,844,792
通路シェルター減価償却費		20,979,348			20,979,348			20,979,348
浮桟橋減価償却費		5,894,527			5,894,527			5,894,527
事業費計	3,794,672	71,460,320	82,991,365		158,246,357	0		158,246,357
管理費								
給与費						3,344,189		3,344,189
役員給与費						889,257		889,257
職員給与費						2,454,932		2,454,932
福利厚生費						557,553		557,553

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品、冷凍・保冷コンテナ、特殊コンテナ、通路シェルター(簡易待合所、バリアフリー対応型タラップ含む)、浮棧橋……定額法(直接法)によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金……期末退職給与の自己都合要支給額の100%に相当する金額を計上している。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	25,170,000	0	0	25,170,000
小 計	25,170,000	0	0	25,170,000
特定資産				
退職給付引当資産	10,639,200	343,200	0	10,982,400
冷凍・保冷コンテナ	123,230,265	43,437,600	40,703,192	125,964,673
通路シェルター	63,331,415	27,449,196	21,451,848	69,328,763
浮棧橋	39,011,231	0	6,330,324	32,680,907
小 計	236,212,111	71,229,996	68,485,364	238,956,743
合 計	261,382,111	71,229,996	68,485,364	264,126,743

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	25,170,000	(20,550,000)	(4,620,000)	
小 計	25,170,000	(20,550,000)	(4,620,000)	
特定資産				
退職給付引当資産	10,982,400	(0)	(0)	(10,982,400)
冷凍・保冷コンテナ	125,964,673	(125,964,673)	(0)	
通路シェルター	69,328,763	(69,328,763)	(0)	
浮棧橋	32,680,907	(32,680,907)	(0)	
小 計	238,956,743	(227,974,343)	(0)	(10,982,400)
合 計	264,126,743	(248,524,343)	(4,620,000)	(10,982,400)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減 価 償 却 累 計 額	除 去 処 分 累 計 額	当期末残高
什 器 備 品	7,675,400	7,041,642	273,245	360,513
冷凍・保冷コンテナ	736,727,935	587,483,577	23,279,685	125,964,673
特殊コンテナ	7,770,000	7,381,500	388,500	0
通路シェルター	406,743,478	319,722,922	17,691,793	69,328,763
浮 棧 橋	82,405,628	48,879,178	845,543	32,680,907
合 計	1,241,322,441	970,508,819	42,478,766	228,334,856

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
日本財団助成金	日本財団					
事業助成金		199,977,030	63,762,000	61,613,781	202,125,249	指定正味財産
負担金						
施設整備事業負担金	離島航路 事業者10者	25,595,881	7,355,988	7,102,775	25,849,094	指定正味財産
合 計		225,572,911	71,117,988	68,716,556	227,974,343	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額
経常収益への振替額	
施設整備事業実施による振替額	231,192
施設整備事業物件の減価償却費計上による振替	65,718,667
経常外収益への振替額	
施設整備事業物件の除去損計上による振替	2,766,697
合 計	68,716,556

財 産 目 録

2 0 1 7 (平 成 2 9) 年 3 月 3 1 日 現 在

(単 位 : 円)

科 目	金 額	備 考
資産の部		
1. 流動資産		
現金	0	手許有高
普通預金	4,024,834	みずほ銀行門司出張所 (282,908) 北九州銀行門司支店 (57,391) 三井住友信託銀行北九州支店 (30,683) 福岡銀行博多駅東支店 (3,653,852)
郵便振替	42,458	01560 - 5 - 20756
定期預金	2,000,000	みずほ銀行門司出張所
前払金	48,157	九州運輸セミナー関連旅費交通費 3 件 (8,284)・ 開催案内送料 (39,442)、切手購入代 (431)
未収金	90,000	九州うんゆジャーナル広告掲載料 (90,000)
流動資産合計	<u>6,205,449</u>	
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金	25,170,000	三井住友信託銀行北九州支店 (18,410,000) 北九州銀行門司支店 (6,760,000)
基本財産合計	<u>25,170,000</u>	
(2) 特定資産		
退職給付引当資産	10,982,400	北九州銀行門司支店 普通預金
冷凍・保冷コンテナ	125,964,673	冷凍コンテナ 74 個、保冷コンテナ 4 個
通路シェルター	69,328,763	風雨防止用通路シェルター 24 基 簡易待合所 8 基 バリアフリー対応型タラップ 12 基
浮棧橋	32,680,907	浮棧橋 4 基、渡り橋 1 基
特定資産合計	<u>238,956,743</u>	
(3) その他の固定資産		
什器備品	360,513	事務機器等什器備品
敷金	422,655	事務所賃借料 3 ヶ月分
電話加入権	160,600	092(451)0469、(451)0474 番
その他の固定資産合計	<u>943,768</u>	
固定資産合計	<u>265,070,511</u>	
資 産 合 計	271,275,960	

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
負債の部		
1.流動負債		
未払金	1,393,253	懸賞論文募集費 1件 1,863 機関誌作成費 3件 902,622 講演会事業費 1件 31 九州運輸コロキアム事業費 1件 261 事務費 7件 488,476
預り金	457,376	2016年度日本財団施設整備事業助成金返却分 248,000 役職員給与の2017年1~3月源泉所得税預り分 41,760 大分港運(株)の誤入金分預り 167,616
流動負債合計	<u>1,850,629</u>	
2.固定負債		
退職給付引当金	10,982,400	役職員に対する退職債務
固定負債合計	<u>10,982,400</u>	
負債合計	12,833,029	
正味財産	258,442,931	